

港区地価指数（住宅地編）

1 全体

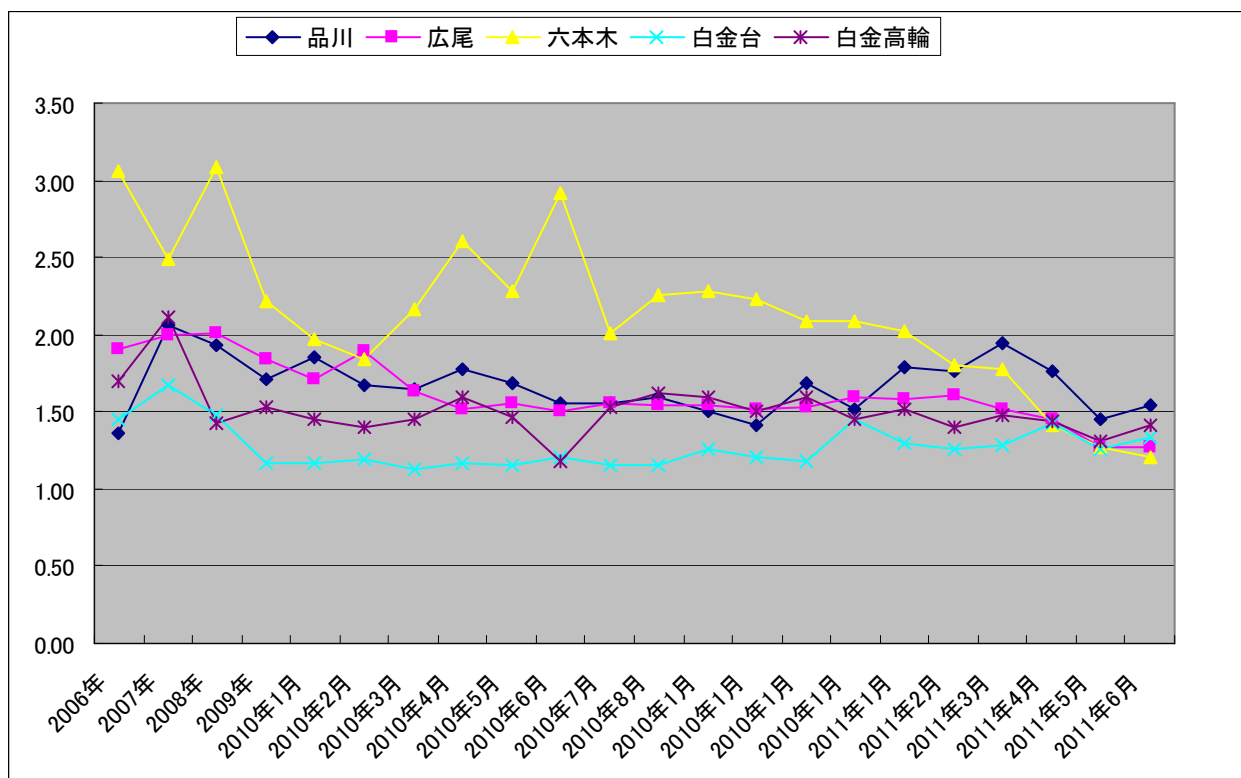
六本木駅を除き07年をピークに下落基調に転じています。10年11月頃から再び上昇基調に転じましたが、11年3月に発生した東日本大震災の影響から一時的に落ち込みました。都全体では震災需要を当て込んで比較的安価な募集件数は増加しました。震災の影響は結果として4から5月まで2ヶ月の限定的なものであり、6月以降は元に戻りつつあります。

2 個別

六本木駅は他駅と異なる動きをしています。地上げや転売目的の売買が相次ぎ、投資、投機目的の取引が一時多くみられ、指数自体が乱高下しています。再開発の進捗に合わせて指数が変動している側面もみられます。直近11年6月は他駅よりももっとも指数が低く、「1.21」を示しています。業者が物件をださないのかそもそも物件自体が無いのかは不明ですが、震災による投資マインドの冷え込みをもっとも強くうけています。

品川駅は周辺一帯の再開発の影響で地域要因が著しく変化し、絶対的な価格水準がアップしています。

広尾駅は実需要ベースでのニーズが高く、地価指数は安定的に推移しています。



- ・港区地価指数（住宅地編）は港区に所在する駅に基づいています。港区全域から求めたものではありません。
- ・地価指数の求め方は本編を参照下さい。